

中小企業景況調査報告書

平成25年度第2・四半期（7～9月）

山内一豊

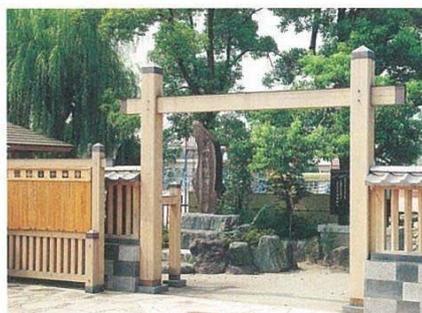


(財)土佐山内家宝物資料館所蔵
Kazutoyo Yamanechi

生 年 1545年(天文14)
没 年 1605年(慶長10)
享 年 61歳
出身地 尾張國黒田
幼 名 辰之助

郷土が生んだ戦国武将
「山内一豊」出生の地

黒田城跡



Site of Kuroda Castle

一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。
- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸売業	13
小売業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (48) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	25
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	6
合 計	48

- VI. 分析 方法 1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- VII. 分析 項目 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- VIII. その他の分析 1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | |
|---------|
| 1位3ポイント |
| 2位2ポイント |
| 3位1ポイント |

今 期 の 概 況

景況は、引き続き持ち直している。

1. 前年同期比 DI 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員のすべての DI 値で、前期実績(H25. 4~6 月期)を上回った。

来期は、業況、売上、採算の各 DI 値で今期実績を上回り、資金繰り、従業員の DI 値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲23.0 から▲20.0 (3.0 ポイント増) となり、来期は▲15.0 (5.0 ポイント増) となる見通し。
- 売上 DI 値は、前期実績▲17.0 から▲14.0 (3.0 ポイント増) となり、来期は▲12.0 (2.0 ポイント増) となる見通し。
- 採算 DI 値は、前期実績▲22.0 から▲16.0 (6.0 ポイント増) となり、来期は▲9.0 (7.0 ポイント増) となる見通し。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲5.0 から▲1.0 (4.0 ポイント増) となり、来期は▲9.0 (8.0 ポイント減) となる見通し。
- 従業員 DI 値は、前期実績▲5.0 から▲1.0 (4.0 ポイント増) となり、来期は▲2.0 (1.0 ポイント減) となる見通し。

繊維製造業の状況

○今期(表 2、5 参照)は、売上、採算、従業員の DI 値で、前期実績を上回り、業況、資金繰りの DI 値で前期実績を下回った。

来期は、業況、採算の DI 値で今期実績を上回り、従業員 DI 値で横ばい、売上、資金繰り DI 値で今期実績を下回る見通し。

2. 前期比 DI 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況の DI 値で前期実績を上回り、売上、資金繰りの DI 値で前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲8.0 から▲3.0 (5.0 ポイント増) となった。
- 売上 DI 値は、前期実績 13.0 から 4.0 (9.0 ポイント減) となった。
- 採算 DI 値は、前期実績▲1.0 から▲2.0 (1.0 ポイント減) となった。

繊維製造業の状況

○今期(表 9、10 参照)は、業況の DI 値で前期実績と横ばい、売上、資金繰りの DI 値で、下回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(38 件、22 事業所)に比べ件数・事業所数とも増加し、設備投資は増加傾向にある。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 46 件(28 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』12 件、『OA 機器』12 件、『付帯施設』9 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 32 件(20 事業所)。その主な内訳(予定)は、『車両・運搬具』10 件、『付帯施設』7 件、『OA 機器』5 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

受注物件の増加と原価割れ工事の減少から増収増益。業界は不透明感はあるものの比較的明るい状況にある。技術者を中心とした人材確保、下請業者の確保が課題。

B 社（製造業〈燃糸〉）

尾州の燃糸業界の業況は横ばい。小ロットで短期間での納入依頼が増えてきている。重油や資材等の価格が高騰し、利益を圧迫しているほか改正予定の最低賃金の増額分を加工賃に転嫁できないため苦しい。

C 社（製造業〈織物〉）

金融機関及び商社筋の与信の見直しが強まっている。毛織物は高額品であるため消費税増税前の駆け込み需要は見込めるが、増税後は反動で落ち込むと思われる。カシミア、アルパカといった獣毛原料が値上がりしているが、売値への転嫁が難しく粗利率が低下している。

D 社（製造業〈織物〉）

1月より毎月最低5アイテムの新商品開発を行っている。得意先の要望(小ロット、クオリティ等)に応えることで国内及び海外への発信力を高めるとともに売上増、利益増を目指している。

E 社（製造業〈繊維製造 その他〉）

円安や中国製品の品質、納期面への不安から生産回帰の傾向が見られる。このような状況下、最近2件の新規顧客を獲得、今後も取引先の拡大を期待している。

F 社（製造業〈自動車部品加工〉）

ガソリンエンジン噴射ポンプ関係の部品受注が好調で年内はフル稼働状態。ただし、来年以降の見通しについては分からず一部非正規雇用で賄っている。また、原油の値上げに伴い燃料(プロパン)の値上げで利益を圧迫している。

G 社（卸売業〈食品機械〉）

例年7～8月は閑散期だが、今年は猛暑の影響もあり業況は良くない。原料価格の高騰と円安の影響で仕入価格が上昇している。価格転嫁は容易ではなく利益を圧迫している。

H 社（小売業〈時計〉）

ネット販売や通信販売に押され、業況は厳しい。消費税増税前の先行購入も期待できない状況である。

I 社（サービス業〈広告〉）

賞与の支給時期に伴い、自動車ディーラーや家電販売店からの掲載依頼を見込んでいたが、予想よりも掲載依頼が少なかった。消費税増税前の駆け込み受注はあると思うが、増税後の反動が心配。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H24. 7～9月	H24. 10～12月	H25. 1～3月	H25. 4～6月	今 期 H25. 7～9月	来期の見通し H25. 10～12月
業 況	▲33.0	▲36.0	▲33.0	▲23.0	▲20.0	▲15.0
売 上	▲37.0	▲33.0	▲37.0	▲17.0	▲14.0	▲12.0
採 算	▲20.0	▲32.0	▲32.0	▲22.0	▲16.0	▲9.0
資金繰り	▲14.0	▲12.0	▲9.0	▲5.0	▲1.0	▲9.0
従 業 員	▲1.0	▲7.0	▲5.0	▲5.0	▲1.0	▲2.0

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H24. 7～9月	H24. 10～12月	H25. 1～3月	H25. 4～6月	今 期 H25. 7～9月	来期の見通し H25. 10～12月
業 況	▲37.5	▲47.9	▲45.8	▲31.3	▲35.4	▲22.9
売 上	▲47.9	▲41.7	▲45.8	▲18.8	▲16.7	▲27.1
採 算	▲29.2	▲50.0	▲47.9	▲33.3	▲29.2	▲22.9
資金繰り	▲18.8	▲20.8	▲12.5	▲2.1	▲8.3	▲16.7
従 業 員	2.1	▲8.3	▲14.6	▲12.5	▲2.1	▲2.1

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (0)	10 (11)	0 (1)	0 (0)	4 (2)	16 (14)	▲ 20.0 (▲15.0)
	不変	5 (6)	25 (29)	9 (11)	7 (7)	2 (4)	48 (57)	
	悪化	0 (1)	26 (21)	4 (1)	3 (3)	3 (3)	36 (29)	
売上	増加	2 (0)	15 (11)	1 (2)	3 (3)	4 (3)	25 (19)	▲ 14.0 (▲12.0)
	不変	1 (5)	23 (28)	8 (9)	3 (3)	1 (5)	36 (50)	
	減少	4 (2)	23 (22)	4 (2)	4 (4)	4 (1)	39 (31)	
採算	好転	2 (0)	9 (10)	0 (1)	1 (1)	6 (3)	18 (15)	▲ 16.0 (▲9.0)
	不変	3 (6)	29 (31)	9 (12)	6 (7)	1 (5)	48 (61)	
	悪化	2 (1)	23 (20)	4 (0)	3 (2)	2 (1)	34 (24)	
資金繰り	好転	0 (0)	5 (3)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	9 (5)	▲ 1.0 (▲9.0)
	不変	7 (7)	49 (47)	11 (11)	9 (9)	5 (7)	81 (81)	
	悪化	0 (0)	7 (11)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	10 (14)	
従業員	増加	1 (0)	8 (9)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	12 (11)	▲ 1.0 (▲2.0)
	不変	3 (6)	46 (44)	11 (12)	8 (8)	7 (6)	75 (76)	
	減少	3 (1)	7 (8)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	13 (13)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	28	来期	計画している ※2	20
	(事業所数)	実施していない	72	(事業所数)	計画していない	80

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	9 件	7 件
2. 工場建物	3 件	2 件	6. O A 機器	12 件	5 件
3. 生産設備	12 件	4 件	7. 福利厚生施設	4 件	3 件
4. 車両・運搬具	3 件	10 件	8. その他	3 件	1 件
複数回答可			合計	46 件	32 件

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	25	8	3	6	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (1)	2 (3)	1 (3)	0 (0)	1 (1)	6 (8)	▲ 35.4 (▲22.9)
	不変	2 (3)	12 (13)	3 (1)	1 (2)	1 (2)	19 (21)	
	悪化	2 (2)	11 (9)	4 (4)	2 (1)	4 (3)	23 (19)	
売上	増加	3 (2)	5 (2)	1 (2)	0 (0)	2 (1)	11 (7)	▲ 16.7 (▲27.1)
	不変	1 (1)	12 (13)	3 (2)	2 (3)	0 (2)	18 (21)	
	減少	2 (3)	8 (10)	4 (4)	1 (0)	4 (3)	19 (20)	
採算	好転	1 (1)	2 (2)	2 (3)	0 (0)	1 (1)	6 (7)	▲ 29.2 (▲22.9)
	不変	2 (1)	14 (16)	3 (2)	2 (2)	1 (2)	22 (23)	
	悪化	3 (4)	9 (7)	3 (3)	1 (1)	4 (3)	20 (18)	
資金繰り	好転	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	▲ 8.3 (▲16.7)
	不変	4 (3)	21 (22)	7 (5)	2 (2)	4 (4)	38 (36)	
	悪化	1 (2)	2 (2)	1 (3)	1 (1)	2 (2)	7 (10)	
従業員	増加	0 (0)	3 (2)	0 (1)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	▲ 2.1 (▲2.1)
	不変	6 (5)	18 (19)	8 (7)	3 (3)	2 (3)	37 (37)	
	減少	0 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	6 (6)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	15	来期	計画している ※2	10
	(事業所数)	実施していない	33	(事業所数)	計画していない	38

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	1 件	5. 付帯施設	4 件	0 件
2. 工場建物	1 件	1 件	6. O A 機器	6 件	2 件
3. 生産設備	7 件	6 件	7. 福利厚生施設	2 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	4 件	8. その他	2 件	0 件
			合計	24 件	14 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H24.7～9月	H24.10～12月	H25.1～3月	H25.4～6月	今 期 H25.7～9月
業 況	▲26.0	▲25.0	▲28.0	▲8.0	▲3.0
売 上	▲10.0	▲14.0	▲43.0	13.0	4.0
資金繰り	▲9.0	▲15.0	▲7.0	▲1.0	▲2.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	2	11	0	1	4	18	▲ 3.0
	不 変	5	33	12	8	3	61	
	悪 化	0	17	1	1	2	21	
売 上	増 加	2	16	2	5	4	29	4.0
	不 変	2	29	7	4	4	46	
	減 少	3	16	4	1	1	25	
資 金 繰 り	好 転	0	3	1	0	2	6	▲ 2.0
	不 変	7	51	11	10	7	86	
	悪 化	0	7	1	0	0	8	

景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H24. 7～9月	H24. 10～12月	H25. 1～3月	H25. 4～6月	今 期 H25. 7～9月
業 況	▲37.5	▲43.8	▲41.7	▲16.7	▲16.7
売 上	▲12.5	▲35.4	▲50.0	12.5	▲2.1
資金繰り	▲8.3	▲18.8	▲6.3	▲4.2	▲8.3

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	25	8	3	6	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	2	4	1	0	0	7	▲ 16.7
	不 変	2	14	5	2	3	26	
	悪 化	2	7	2	1	3	15	
売 上	増 加	2	7	1	0	1	11	▲ 2.1
	不 変	2	13	4	3	3	25	
	減 少	2	5	3	0	2	12	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 8.3
	不 変	5	22	7	2	4	40	
	悪 化	1	1	1	1	2	6	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○原材料価格の 上昇
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○製品ニーズの変 化への対応	○生産設備の不足 ・老朽化
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○仕入単価の上昇
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○販売単価の低下・ 上昇難	○需要の停滞
サービス業	○利用ニーズの変化 への対応	○店舗施設の狭隘 ・老朽化 ○材料等仕入単価 の上昇 ○需要の停滞	○従業員の確保難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	2
材料の入手難	0
人件費の増加	3
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	10
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	7
民間需要の停滞	9
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	7
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	31
生産設備の不足・老朽化	16
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	45
原材料の不足	3
人件費の増加	11
原材料費・人件費以外の経費の増加	11
製品(加工)単価の低下・上昇難	48
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	12
需要の停滞	66
その他 (安い輸入品の増大)	2
合 計	262

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	13
生産設備の不足・老朽化	12
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	9
原材料の不足	0
人件費の増加	5
原材料費・人件費以外の経費の増加	5
製品(加工)単価の低下・上昇難	10
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	16
その他	0
合 計	75

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	6
商品在庫の過剰	6
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	10
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	1
需要の停滞	18
その他 (円安)	1
合 計	55

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	14
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	4
消費者ニーズの変化への対応	6
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	2
需要の停滞	7
その他	0
合 計	46

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	2
利用者ニーズの変化への対応	10
店舗施設の狭隘・老朽化	7
人件費の増加	3
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	2
材料等仕入単価の上昇	7
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	4
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	7
その他 (消費税対策)	1
合 計	48

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

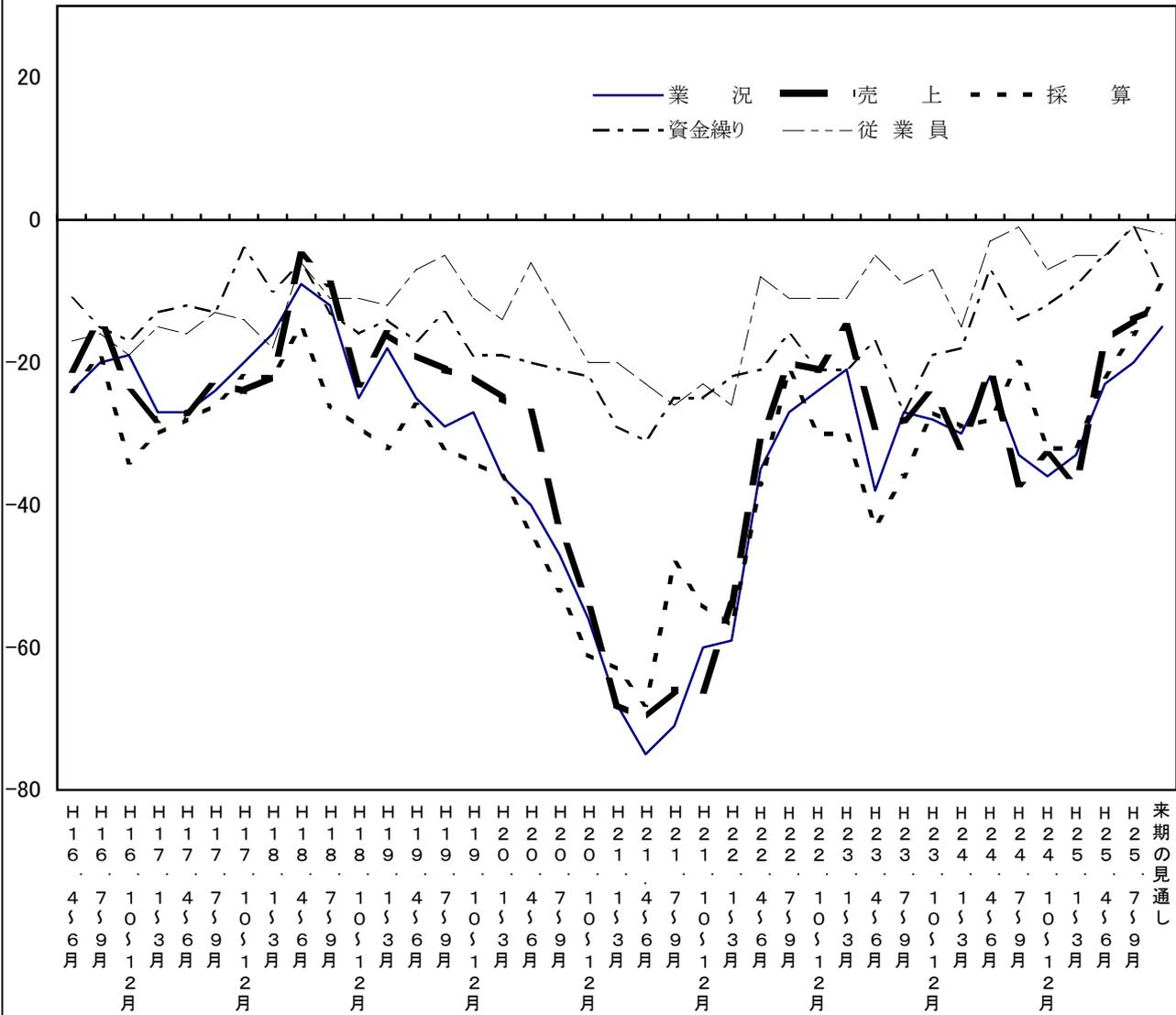


図 4

採 算 DI 一前年同期比一

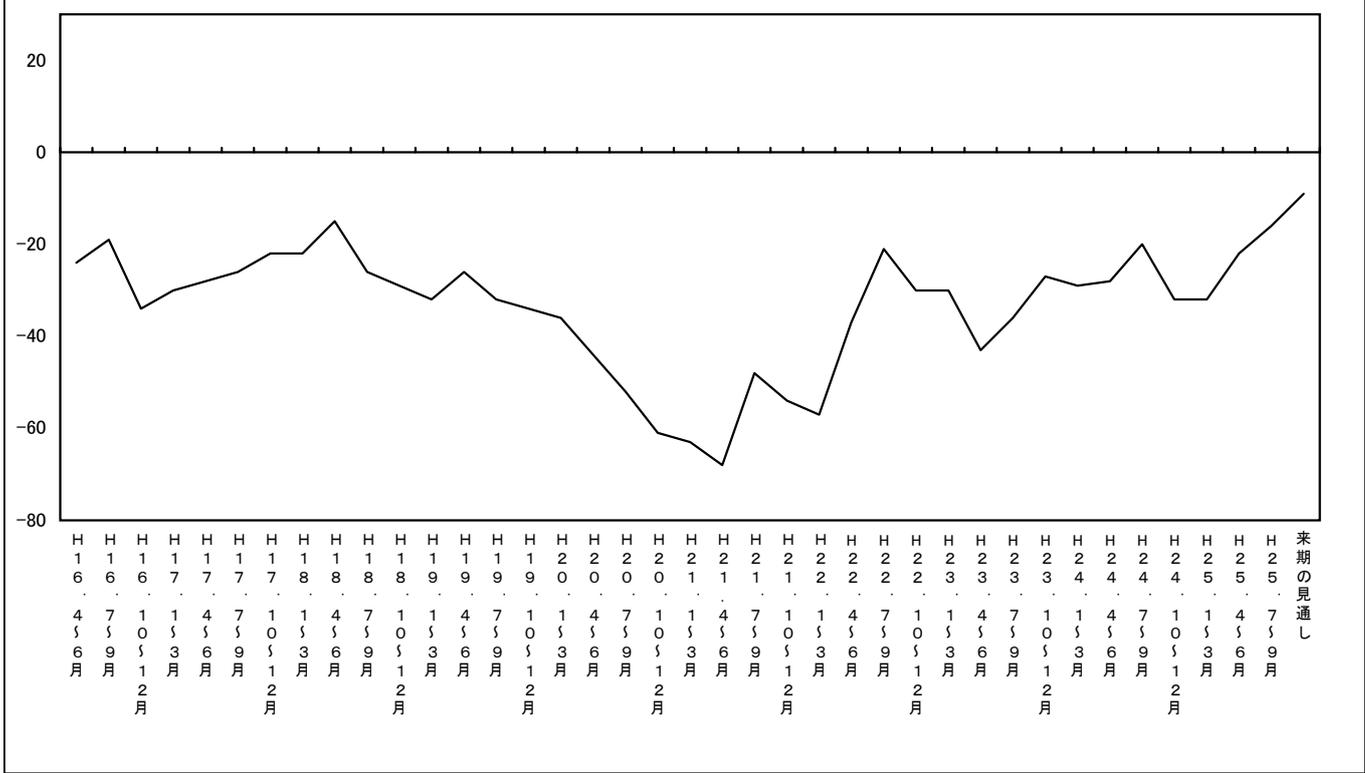
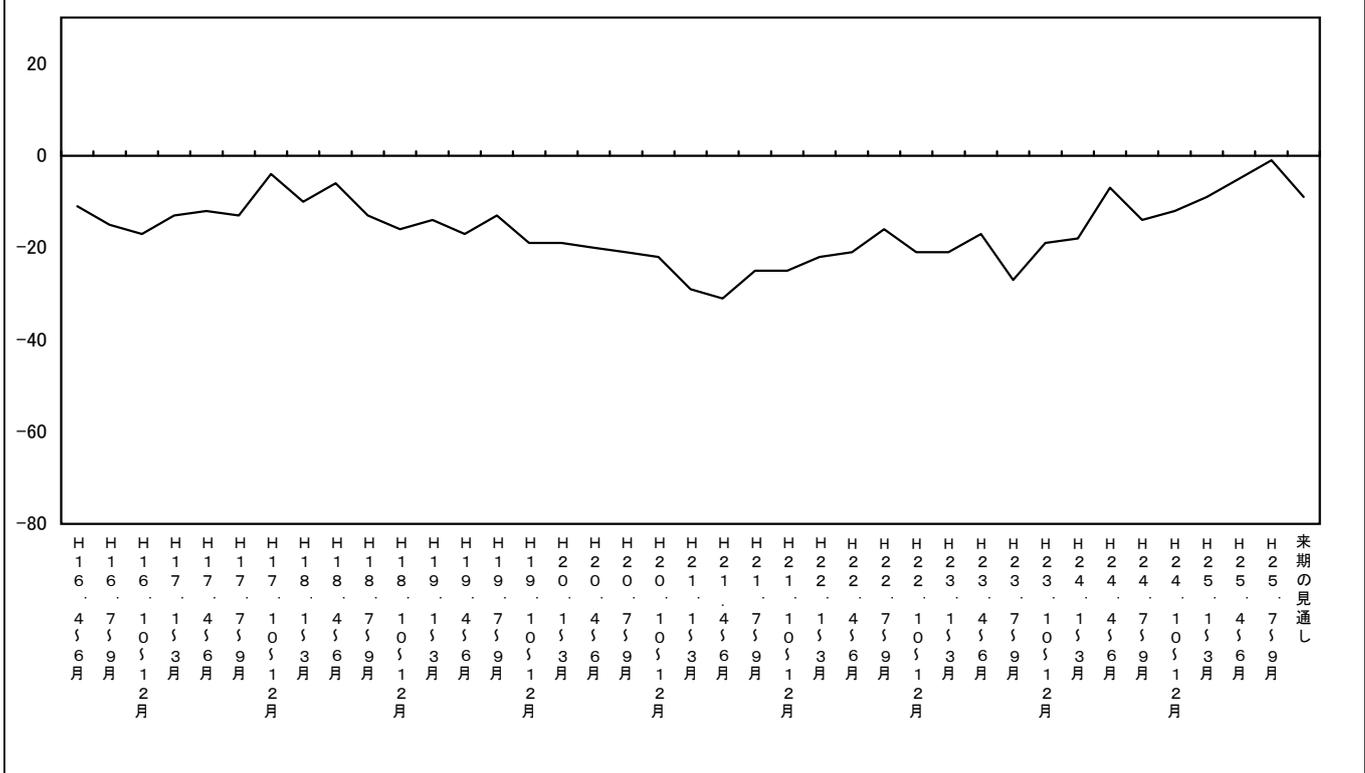
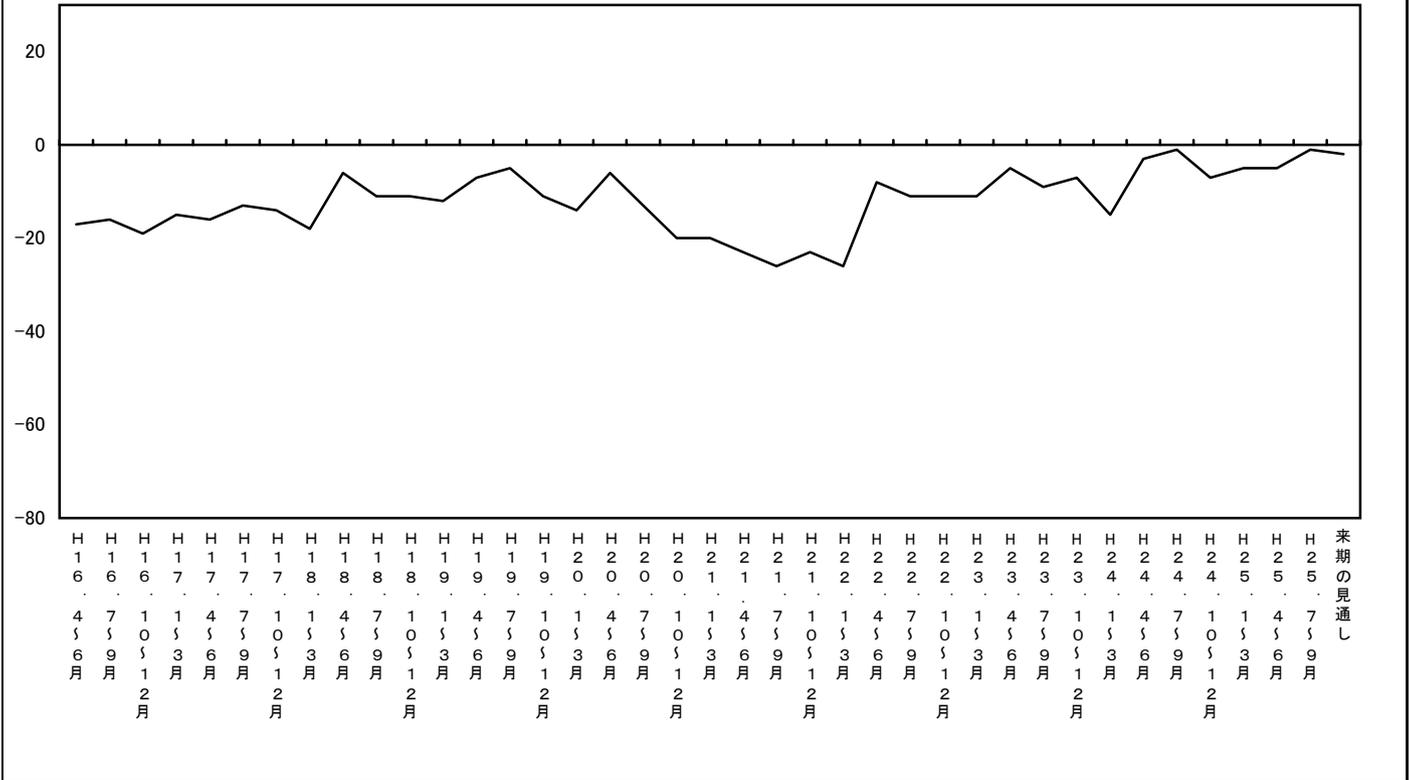


図 5

資金繰り DI 一前年同期比一



従業員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp